

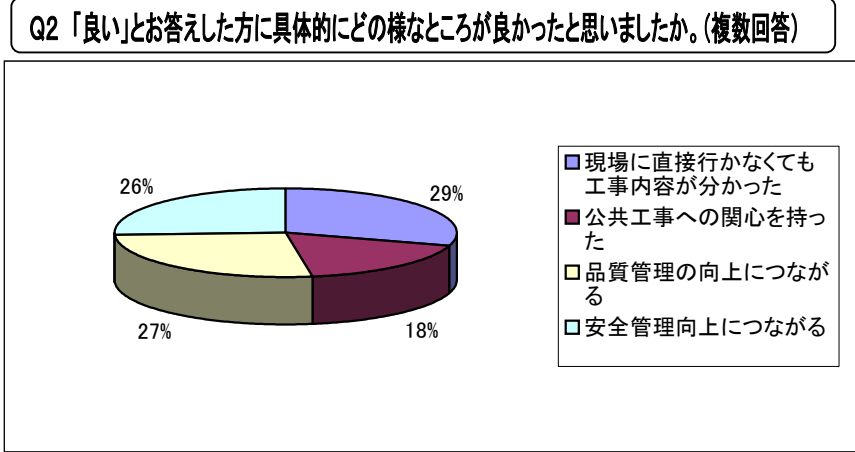
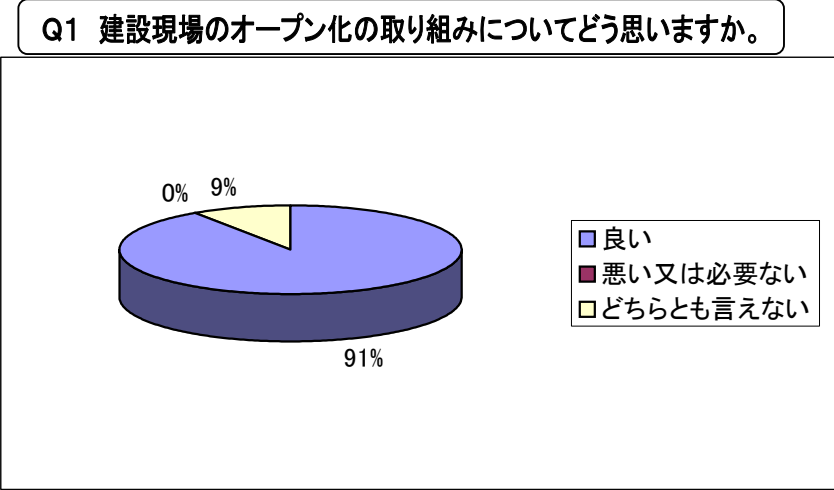
「建設現場のオープン化」に関する市民へのアンケート結果  
— 国道298号東京外かく環状道路矢切函きょ工事の事例(首都国道事務所) —

関東地方整備局首都国道事務所では、公共工事への理解向上を図るため、国道298号東京外かく環状道路矢切函きょその2工事において「建設現場のオープン化」を試行的に実施している。

本取り組みは、工事現場にカメラを設置し、工事状況を「外かんインフォメーションセンター矢切」に設置した映像モニターで一般公開を行うものであり、併せて「建設現場のオープン化」の取り組みに対する市民意見を把握するため、来客者に対してアンケートを実施している。

アンケート結果は下記の通り。

- 1. 集計期間 平成16年11月18日から平成17年8月31日まで
- 2. 回答数 95人(男性 79人、女性 16人)
- 3. アンケート結果



**Q3 その他、ご意見がございましたらお書き下さい。**

- ・工事内容がわかりやすい。
- ・良い試みだと思います。今後もいろいろな試みをして欲しい。
- ・工事の進捗状況も分かるし、工事に携わる人の意識も良い意味で変わると思う。
- ・他の現場も行って欲しい。(全国11箇所は少ないので地方公共団体でも行って欲しい)
- ・現場の声も聞こえるといいと思う。
- ・カメラを可動式にして、前後ズーム機能などの操作ができると良い。
- ・インターネットで見られるようにして欲しい。
- ・施工の各段階を見たい。
- ・画面上で工程が分かると良い。